

参議院議員(比例代表 全国区)

赤池まさあき

～国づくり、地域づくりは、人づくりから～



日々勉強!
結果に責任!

電動車整備に向けて補助金活用を

補正と来年度予算でコロナ禍後の対策を強化!

令和四年がはじまりました。コロナ禍の中、皆様方のご尽力とご協力には、深く敬意を表します。今なお、変異株の感染は拡大状況にあり、各事業所におかれましては、感染症対策の徹底と三回目のワクチン接種へのご協力を引き続きお願い申し上げます。

●補正予算が成立

昨年十二月二十一日、補正予算が成立しました。

その中には、事業再構築補助金六一二三億円が盛り込まれています。それは、電動車の整備に必要な設備を導入し、併せて整備人材も育成する場合、中小企業は上限一億円、補助率二分の一の支援が受けられます(裏面参照)。

また、中小企業生産性革命推進事業には二千億円が計上され、生産性向上に繋がる場合、ものづくり補助金等もご活用頂けます。

●来年度予算案

十二月二十四日に来年度予算案が決定され、整備には三七・五三億円(補正含む)が計上されています。

【新規事業は四点】

①各種手続のデジタル化に向け、整備事業者による国交省への約二十の申請・審査手続に関し、オンライン化を調査研究します。

②車検関係手続のデジタル化に向け、オンライン申請の拡大(OSS利用拡大)、申請・審査のペーパーレス化、手数料や税金の窓口でのキャッシュレス化、複数窓口の合理化等を実施します(裏面参照)。

③脱炭素化対応の整備人材の育成確保に向け、整備士養成施設において、電動車等の効果的な教育方法とデジタル化教材の実証研究を行います。

④高齢者の事故防止に向け、従来のサポカーの普及とともに、新技術を活用したサポカー二・〇を研究開発します。

【継続事業は四点】

①自動運転技術の実用化に向け、レベル四の法規要件を策定して国際標準化を推進し、令和六年十月からの車載式事故診断装置(OBD)検査の運用方法・点検整備・検査、及び整備士資格制度等の高度化を調査し、通信技術等を活用した災害対応も強化します。

②生産性向上と事業基盤強化に向け、働き方改革のための機器設備の導入、他業種連携、契約の実態把握、事業承継の好事例の調査、若者や女性へのPR強化、技能実習や特定技能の外国人人材の確保、地域での事業者間連携による自律的取組み、以上の発掘・支援を全国展開します。

③適切な保守・管理の推進として、自動車点検整備推進運動を行い、十月から定期点検項目に追加されるOBDによる診断の周知、葉書による点検整備前検査のユーザーへの啓発、大型車の車輪脱落事故の分析等を実施します。また、未認証工場の取締りを強化し、ユーザーへの注意喚起を行い、無車検車・無保険者対策も強化します。

④スキヤンツールの補助も継続します。

今年も、引き続き、自動車整備業の振興に尽力いたします。変わらぬご指導賜りますようお願い申し上げます。

(赤池)



赤池誠章(あかいけまさあき)昭和三十六年山梨県生まれ。明治大学卒。松下政経塾出身。自動車整備士養成の専門学校長を経て、衆議院議員に初当選。清和政策研究会(安倍晋三会長)に所属。平成二十五年の参院選比例代表(全国区)で国政復帰。国土交通委員会理事、文部科学大臣政務官、文部科学委員長、自民党文部科学部会長(三期)を務め、現在、内閣府副大臣、自動車整備議員連盟常任幹事、参議院議員二期目。

《国会事務所》
〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館524号
TEL: 03-6550-0524
FAX: 03-6551-0524
HP: <https://www.akaike.com>

【自由民主党 党員募集】
自民党では党員を募集しています。詳細は事務所まで。



日々勉強！
結果に責任！

参議院議員(比例代表 全国区)

赤池まさあき

～ 国づくり、地域づくりは、人づくりから～

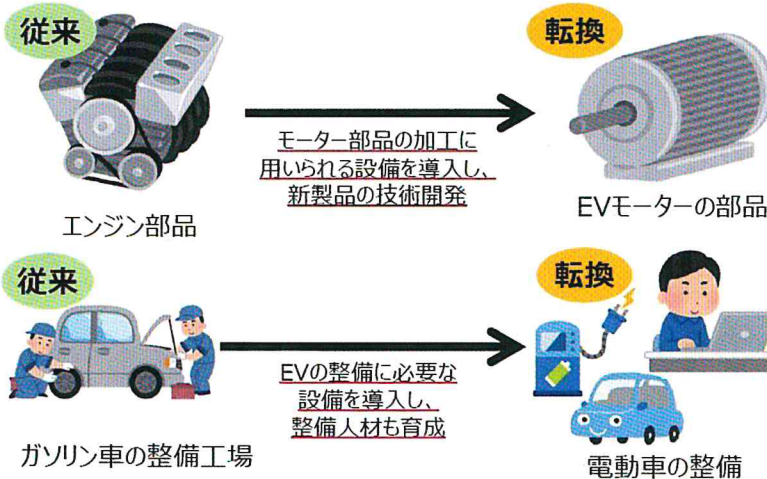
令和4年(2022年)1月1日(土曜日)

自民党 Lib Dems
LIBERAL DEMOCRATIC PARTY OF JAPAN

国政ニュース

自動車産業の事業再構築へ！

「攻めの業態転換・事業再構築」のイメージ



事業再構築補助金「グリーン成長枠」の概要

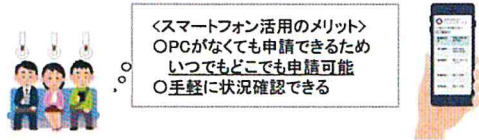
概要	研究開発・技術開発又は人材育成を行いながら、グリーン分野※の課題の解決に資する取組を行う事業者に対する支援 ※グリーン成長戦略の重点14分野
対象経費	建物費、機械装置・システム構築費、技術導入費、広告宣伝費・販売促進費、研修費 等
補助上限	中小1億円、中堅1.5億円
補助率	中小1/2、中堅1/3

出典：中小企業庁資料

車検手続のデジタル化へ！

オンライン申請の拡大(OSS利用拡大)に向けた主な施策

- スマートフォンを用いた申請及び進捗状況の確認
スマートフォンによるOSS申請及び手続進捗状況の確認をできるようにする。

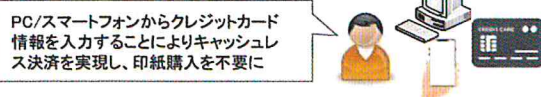


- 車検証ICタグの情報を利用したOSS申請入力補助
電子車検証(令和5年1月導入予定)のICタグ内に格納された車検証情報をOSSポータルサイトに自動入力する。



窓口業務フローの見直しに向けた主な施策

- 支払窓口業務のキャッシュレス化・合理化
検査登録手数料及び自動車重量税のクレジットカードでの一括決済を実現する。



- 手続の進捗状況「見える化」
運輸支局等窓口において、受付時の番号札の発券や電子掲示板へ処理状況を表示する仕組みを導入する。

- 申請者及び運輸支局等職員の負担軽減
・PC/スマートフォンの画面入力により申請書を作成するサイトを導入し、申請書作成の負担を軽減する。
・AIチャットボット等を導入し、職員の間合せ対応への負担を軽減する。

- 車検証更新手続のドライブスルー化
検査後の車検証を、支局等窓口ではなく、検査場で受け取れるよう、窓口を設置してドライブスルー化を行う。

出典：国土交通省資料